

第3期 富岡第3地区 地域福祉保健計画

キャチフレーズ

誰もが安心して暮らせる「まち」にしよう

取り組み事例

ひかりが丘町内会

災害時 安否確認活動

H29年3月

ひかりが丘町内会の災害時安否確認活動について

町内の平常時「つながり」と「みまもり」

- ・平常時には、組織図に示した、町内の同好会・サークル、各部会の活動を通じて「会員間のつながり」を持ち、ご近所の付き合いや民生委員による「高齢者などの要援護者のみまもり」を行っています。

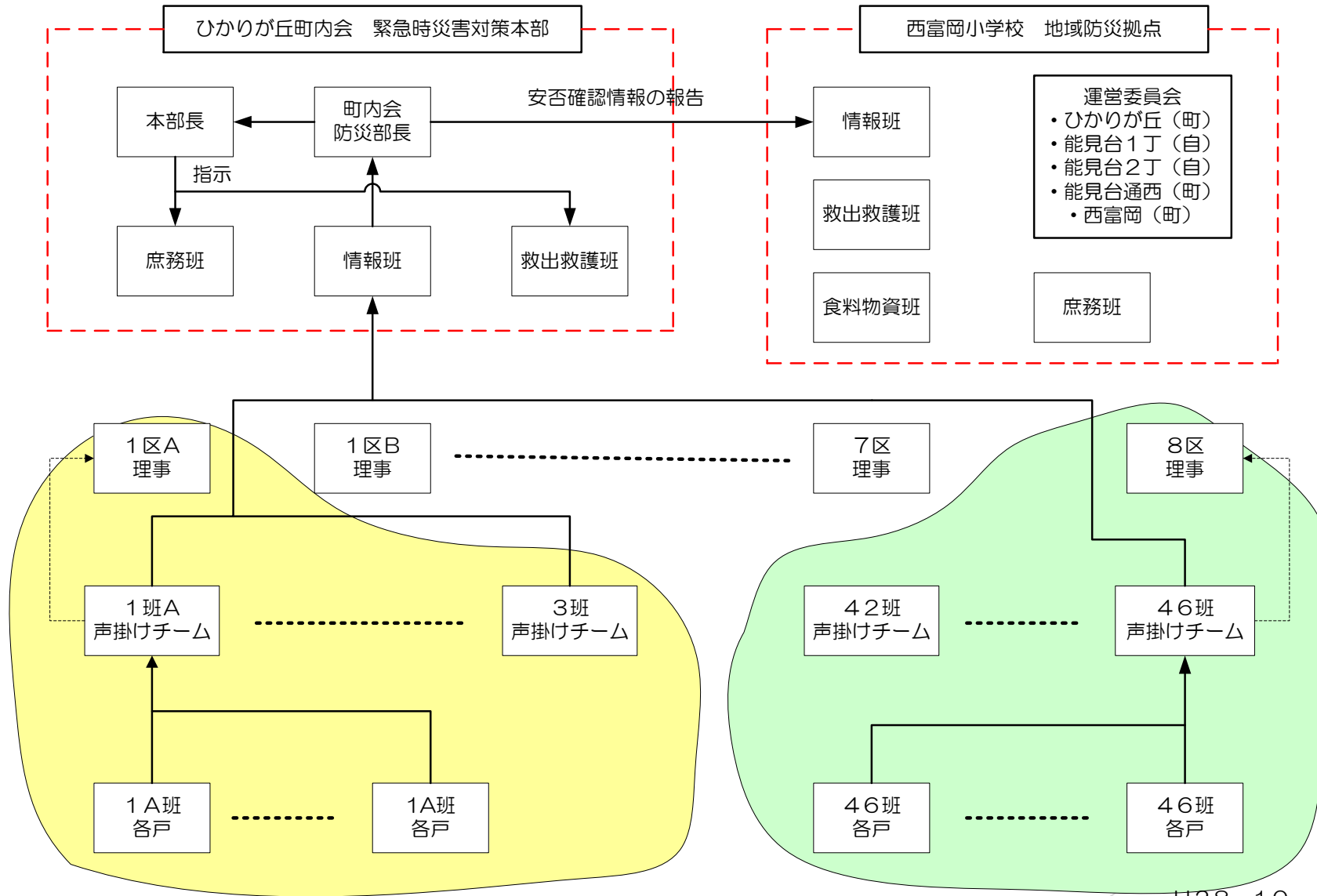
災害時安否確認活動

- ・災害時には要援護者を含めて、だれもが災害に遭うことが考えられます。

声掛けチームは、安否確認活動は対象をひかりが丘町内会の町内全戸にしています。

安否確認の情報は、次の図のように集められ、防災拠点に報告します。

災害時安否確認活動の情報ルート



安否確認組織の役割

		28年度 担当(者)	職務内容
本部長	町内会会長		対策本部の責任者。 本部長が活動できない場合は情報班の長が代行する。
庶務班	班長 (町内会副会長)		・ 町内会館への避難者の対応をする。
	班員	総務部 少年部	
情報班	班長 (町内会副会長)	名取	・ 安否情報の整理、対応策を決める。
	班員	防災部	
救出救護班	班長 (町内会副会長)	橘 福祉部	・ 災害者救助、負傷者(軽度の傷)の手当てを行う。 ・ 避難者の拠点までの案内をする。 ・ 町内会館庭、ひかりが丘公園へのテント設営(救護班が必要と判断した場合)を行う。
	班員	高年部	
理事		別紙(1)	・ 声掛けチームからの確認票より救助が必要な場合は本部と連絡を取る
各班の 声掛けチーム	リーダー サブリーダー	別紙(2)	・ 担当区域(班)の全戸に対し安否確認(在宅者が安全、負傷者あり、高齢者、病人の手助けが必要、家屋の損壊の有無)を行い確認票に記載する。 ・ 声掛けの途中、道路の亀裂、陥没、塀の倒壊、がけ崩れ、電線の切断、電柱の倒壊等インフラの破損により通行の困難な場所があった場合はその旨本部に報告する。 ・ サブリーダーはリーダーが不在の場合の代行をする。 ・ 理事が行動不能の場合は班内のリーダーの代表が代行する
	メンバー		・ 担当区域(班)の全戸に対し安否確認(在宅者が安全、負傷者あり、高齢者・病人の手助けが必要、家屋の損壊の有無)を行い確認票に記載する。

安否確認票 (イメージ)

安 否 確 認 票

理事確認チェック

	区	班	確認者氏名 (確認日時)			時	分
			声掛け家族	無事	助け必要 家屋倒壊 負傷 介護者		
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							

備考欄 ◎は安否確認希望家族

○は長期不在

平成**年**月**日 現在の名簿